

エコ活動推進計画

- ☆ 日常的なエコ活動の取り組みで、めあてをもち、達成する喜びを感じる子に育てよう！
 ☆ 学校でのエコ活動を家庭や地域にも生かせる子を育てよう！

行動項目・目標

児童	電気エコ	教室にある電気製品は、使うときだけコンセントのスイッチをいれます。 必要のない教室の照明は消します。(教室に誰もいない時、明るい日、給食時、清掃時など)
	紙エコ	教室で出る使用済みの紙は、「もう1回」ボックスか「資源回収」ボックスに入れます。
	空き缶エコ	空き缶を学校でも回収し、町の活動に協力します。 (飲料用の空き缶のみ 缶詰の缶は不可)
	水エコ	むだな水は流しません。(手洗いのとき、歯磨きの時、手洗い場掃除の時等)
	学習会	なぜエコ活動が必要なのかを集会等を通して知る。
教師	電気エコ	不用な電気(照明、事務機器)は、こまめに消します。 必要のない廊下の照明は消します。(天気の良い日、児童がいない時)
	紙エコ	用紙の両面印刷など紙使用の減量に努めます。 職員室で出る使用済みの紙は、分別してリサイクルボックスに入れます。 再生紙の使用を推進します。
	空き缶エコ	児童同様
	水エコ	児童同様
	校内研修会	省エネとリサイクルが地球環境に及ぼす影響やエコ活動の必要性などについて研修を深めます。

具体的な内容

1 節電

(1) 目的

- ・学校生活での節電を通して、エコライフの習慣化を図る。

(2) 方法

①校内共通の節電の取り組みを示す。

- ・教室にある電気製品は、使うときだけコンセントのスイッチをいれます。
- ・必要のない教室の照明は消します。(教室に誰もいない時、明るい日、給食時、清掃時など)
- ・廊下の照明の入り切りは、教師が行う。
*天候など各場面に応じて判断し行動する。

②エコ度チェックカード (別紙) を元に、節電の取り組みを振り返る。

毎週金曜日の帰りの会でその日の様子をクラスごとにチェックする。
 エコ度を職員室前のグラフに記入し、エコ活動への意識を高める。

③電力消費量のデータを基に、節電の成果のPRと継続意欲の向上を図る。

- ・児童エコ委員会が中心となりデータを校内にグラフ掲示及び全校集会等でPRしていく。

- ④次年度に向けて、データを集積する。

2 紙のリサイクル

(1) 目的

- ・学校生活での紙のリサイクルを通して、エコライフの習慣化を図ると共に、ごみの減量化を進める。

(2) 方法

- ①教室、職員室で出る使用済みの紙は、リサイクルボックス（仮称）にためる。
 - ・ 児童エコ委員が月1回、整理・梱包する。
- ②重量を量り、データを蓄積する。
- ③データを校内にグラフ掲示及び全校集会等でPRする。（児童・職員委員会）
- ④PTAと連携して、5月、10月の資源回収を行う際、児童からも呼びかける。

(3) 紙の分別方法

①教室

- A:「資源回収」ボックス＝ちらし、両面使用済みまたは小さいなど印刷不可能な紙 練習後の習字紙、
- B:「もう一回」ボックス＝裏面再利用可能な紙

②職員室

- A: 裏面再利用可能な紙
- B: 新聞紙
- C: ちらし、両面使用済みの紙、のり付けされた冊子、エコごみ
- D: 小さな紙切れ等＝各デスク横の小袋
- E: ホッチキスでとめた冊子
 - * テープ、ガムテープは、必ずとる（ホッチキスは、ついていてもよい）。
 - * ティッシュ、金銀紙、シールは不可。
 - * 生協のちらしは、専用の回収箱へ

3 空き缶の収集

(1) 目的

- ・学校周辺、公園、遠足時、家庭等での空き缶の収集を通して、リサイクルを実感させる。

(2) 方法

- ①児童エコ委員会が、町商工会空き缶サンセットカードの仕組みを学習し、全校集会等でPRする。
- ②年2回、諸活動と絡めながら美化活動に取り組み、空き缶を収集する。
- ③玄関前の空き缶ボックス（仮称）で集め、定期的に役場内圧縮機へ持っていき、サンセットカードでポイントを貯める。→みんなのものを購入

4 その他

- (1) 節水・・・手洗い場清掃時の節水の推進
手洗い時や歯磨き時の節水の推進

- (2) 校内緑化・・・校庭周辺の花植え
校長室窓のゴーヤカーテン

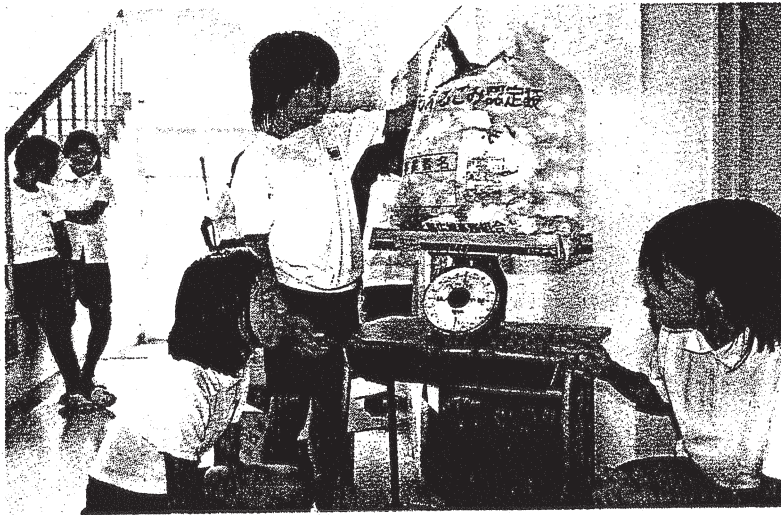
- (3) エコ新聞を通しての学校と家庭との協力体制作り

1日 1.5キ ロ以下に

内灘・鶴ヶ丘小

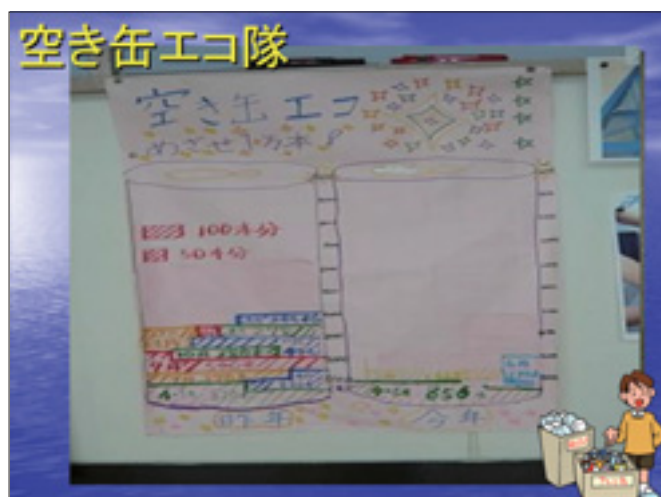
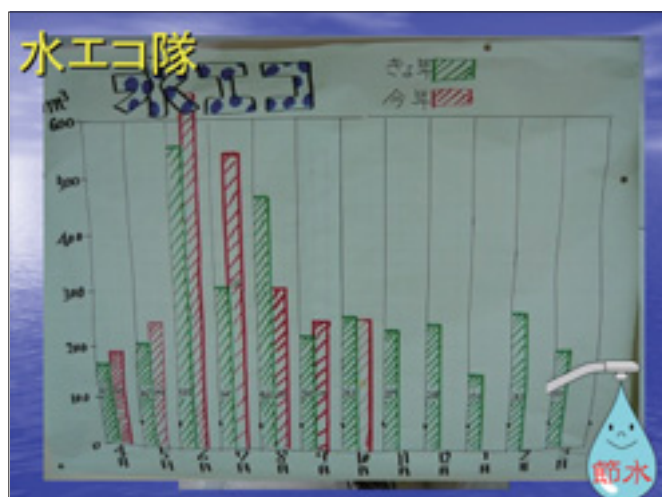
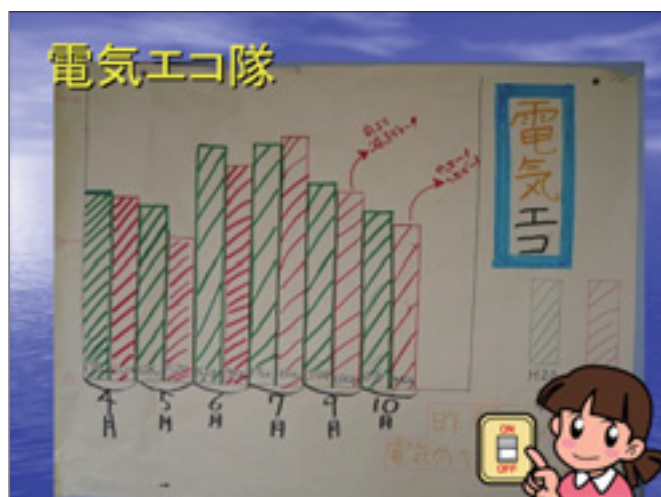
内灘町鶴ヶ丘小は、九月から校内で一日に出るごみを一・五キ以下に抑える目標を立て、紙の節約などのエコ活動を推進している。児童がごみの重さを測定して一日ごとにグラフで表示することで資源節約の意識を高め、これまでもほぼ毎日目標を達成している。十一月の町民フォーラムで成果を発表する。同校は今年度、町のエコ活動推進モデル校に指定された。五、六年生でつくるエコ委員会が中心となって、空き缶回収や電気、水道水の節約などの活動に取り組んでいる。

エコ委員 全校で資源節約



ごみの重さ測定は、六月から続けていたが、児童に、より目的意識を持ってもらったため、新学期から一日一・五キ以下に抑えることとした。各教室に再利用できる紙のごみを分別する資源回収ボックス。ごみの重さを計測する児童＝内灘町鶴ヶ丘小

クスを設けるなど全校レベルで減量を目指している。
エコ委員長を務める新明真実さん(六年)は、「家に帰っても電気や紙の節約に気を付けるようになった。もっとみんなでエコのアイデアを考えていきたい」と意欲を見せている。



ダンボール堆肥



グリーンカーテン



ほかにも.....



ぼくたち・わたしたちの願い



ありがとう
ございました

